



物流と人のハーモニー
TRANCY

第 105 期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



日本トランスシティ株式会社

証券コード：9310



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第105期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループでは、2017年度を初年度とする中期経営計画を策定し、品質・安全の向上、新たな価値の創造、事業基盤の強化、お客さま満足・従業員満足の追求に取り組み、『Trancyのロジスティクス』の確立に向け、事業活動に取り組んでおります。

今後とも当社グループ一丸となり、お客さまに最高のサービスを提供し、社業の発展と経営の強化に邁進することにより、株主の皆さまのご期待に応えてまいり所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

取締役社長 小川謙

人と人を結び、都市と都市をつなぎ、新しい夢と文化を育む 日本トランスシティグループ

企業理念

事業領域

- グローバルな視点から、システマティックな物流と新たな活動分野を創造する

社会的役割

- 地域とともに生き、広く社会の発展に貢献する

企業文化・風土

- 人間性豊かな、高感度・行動型集団を目指す

次代を目指すトータルロジスティクスサービス

国内倉庫管理システムや国際情報システム等を活用して海外から国内までの一貫したサプライチェーンの可視化を実現します。

お客様の商品の特性に合わせた保管荷役と在庫管理情報の提供等を行うとともに、お客様に最適な物流戦略拠点を提供します。

検品、ラベル貼付など、多様な物流加工サービスを提供し、お客様のSCMを総合的にサポートします。



■ 海外ネットワーク

ドイツ

デュッセルドルフ

ハンガリー

ブダペスト

アメリカ

エルパソ、メアリスビル、シンシナティ、レキシントン、サンアントニオ

メキシコ

アグアスカリエンテス

中国

大連、青島、上海、深圳、香港、惠州

フィリピン

マニラ

ベトナム

ハノイ、ホーチミン、ドンナイ、ハイズン

カンボジア

プノンペン

ミャンマー

ヤンゴン

タイ

バンコク、レムチャバン

マレーシア

クアラルンプール、クアタム

インドネシア

ジャカルタ、スラバヤ

株主の皆さまへ

営業概況（連結）

当中間期における当社グループの営業概況につきましては、総合物流業において、倉庫業では、昨年稼働した新規拠点での取扱いが順調に推移したことなどにより、期中平均保管残高が前年同期に比べ大幅に増加したほか、入出庫にかかる取扱量も前年同期に比べ増加しました。港湾運送業では、前年同期に比べ、四日市港における海上コンテナの取扱量は増加し、石炭および工業用原料の取扱量につきましても増加するなど、好調に推移しました。陸上運送業では、鉄道輸送およびバルクコンテナ輸送の取扱量は前年同期に比べ減少しましたが、主力のトラック輸送の取扱量は前年同期並みに推移しました。国際複合輸送業では、航空輸送の取扱量は前年同期に比べ増加しましたが、海上輸送

の取扱量は前年同期に比べ減少しました。

その他の事業につきましては、依然として厳しい環境下ではありましたが、業務の効率化や収支改善に努めました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は、倉庫業、港湾運送業の取扱いが好調に推移したことなどから、前年同期比3.7%増の489億3千3百万円となりました。連結経常利益は、新規拠点における取扱量の増加による稼働率の向上や新規拠点の稼働に伴う一時費用等の減少などから、前年同期比55.4%増の22億1千2百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比52.7%増の15億2百万円となりました。

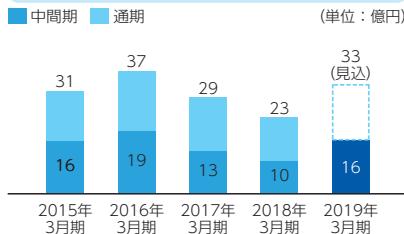
■ 売上高

489億円 (前年同期比3.7%増)



■ 営業利益

16億円 (前年同期比63.7%増)



■ 経常利益

22億円 (前年同期比55.4%増)

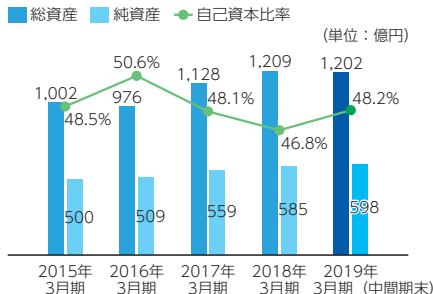


■ 親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

15億円 (前年同期比52.7%増)



■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 通期予想

売上高	1,000億円
営業利益	33億円
経常利益	42億円
親会社株主に帰属する当期純利益	28億円

今後の課題

当社グループでは、2017年度に策定した「中期経営計画」を達成するため、引き続き様々な施策を実施してまいります。具体的には、国内ロジスティクス事業の強化として、新たに三重県四日市市霞地区に「霞バイオマスセンター」の建設に向けた取組みを進めることで、四日市港における貨物の取扱拡大と多様化を図ってまいります。グローバルロジスティクス事業展開の加速については、本年4月に新設した海外本部の主導のもと、5月に取得したGMS（大メコン圏）越境交通ライセンスを最大限活用するなど、グローバルネットワークの更なる強化に努めてまいります。国内外におけるグループ経営基盤の強化については、高品質な物流サービスを持続的に提供するために、従業員満足度を高める制度の整備、グループ会社における社員採用の支援、企業認知度向上ならびにIoT技術を活用した省人化を図ってまいります。さらにグループCSR経営の推進として自然災害発生の高まりに備えたリスク管理体制を強化してまいります。

配当について

当社は、安定的な配当を基本とし、今後の経営環境の変化を踏まえ、財務体質の強化にも配慮しつつ、長期的・総合的な視野に基づく配当を実施したいと考えております。

第105期中間配当につきましては、業績を勘案いたしまして、1株につき5円とさせていただきます。

今後も経営環境等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施してまいります。



日本トランスシティグループ 中期経営計画

Trancy Innovation 2019 —革新—

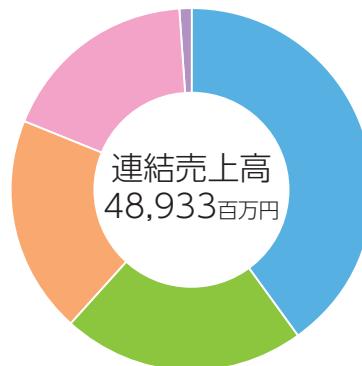
グローバルな領域で、お客さま満足、従業員満足を追求する集団となり、時代を先取りしたスピード感で物流品質・安全の向上と新たな価値・事業基盤の創造により、『Trancyのロジスティクス』を確立する

経営戦略

- 国内ロジスティクス事業の強化
- グローバルロジスティクス事業展開の加速
- 国内外におけるグループ経営基盤の強化
- グループCSR経営の推進

セグメント別営業概況

倉庫業	40.1%
港湾運送業	21.8%
陸上運送業	19.3%
国際複合輸送業・その他	17.7%
その他の事業	1.1%



倉庫業

売上高 **196**億円

当部門におきましては、昨年稼働した新規拠点での取扱いが順調に推移したことなどにより、期中平均保管残高は前年同期比11.8%増の51万2千トンとなり、期中貨物入出庫トン数につきましても前年同期比6.2%増の399万2千トンとなり、保管貨物回転率は64.9%（前年同期68.4%）となりました。

以上の結果、当部門の売上高は、前年同期比6.0%増の196億1千1百万円の計上となりました。



売上高の推移



港湾運送業

売上高 **106**億円

当部門におきましては、四日市港における海上コンテナの取扱量は前年同期比1.3%増の11万3千本（20フィート換算）となり、輸入原料や国内自動車の取扱量も増加するなど、好調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は、前年同期比4.6%増の106億6千7百万円の計上となりました。



売上高の推移



陸上運送業

売上高 **94**億円

当部門におきましては、鉄道輸送およびバルクコンテナ輸送の取扱量は前年同期に比べ減少しましたが、主力のトラック輸送の取扱量は前年同期並みに推移しました。また、ドライバー不足等を背景としたコストの増加に対し、適正な運賃の収受に努めました。

以上の結果、当部門の売上高は、前年同期比3.4%増の94億6千7百万円の計上となりました。



売上高の推移



国際複合輸送業・その他

売上高 **86**億円

当部門におきましては、航空輸送の取扱量は前年同期に比べ増加しましたが、海上輸送の取扱量は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当部門の売上高は、前年同期比1.3%減の86億5千1百万円の計上となりました。



売上高の推移



その他の事業

売上高 **5**億円

その他の事業におきましては、売上高は、前年同期比2.3%減の5億3千4百万円となりました。

売上高の推移



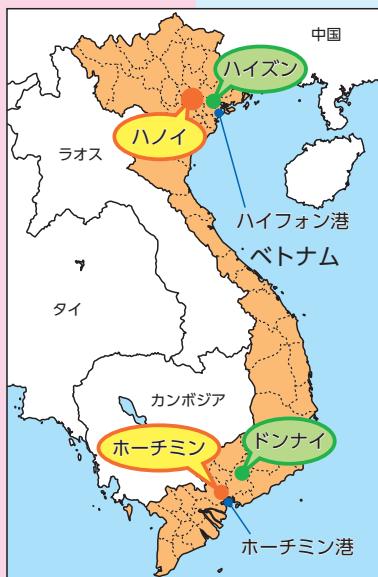
特集 ベトナムにおける物流サービス

当社グループでは、グローバル物流機能を強化するため、海外12カ国27拠点に展開し、拠点の整備・拡充を進めております。その中でも、ベトナムにおいては2016年、お客さまのニーズにお応えするために、倉庫業を主力とする現地法人2社目を設立しました。

今回は、順調に拡充が進んでいるベトナムにおける物流サービスにつきまして、ご紹介いたします。

名称： Trancy Logistics (Vietnam) Co., Ltd.
事業： 国際複合輸送業、輸出入取扱業 他
設立： 2010年1月
資本金： 10万USドル
本店： ハノイ
出資： 当社 49%

名称： Trancy Distribution (Vietnam) Co., Ltd.
事業： 倉庫業、国際複合輸送業、輸出入取扱業 他
設立： 2016年9月
資本金： 30万USドル
本店： ハノイ
出資： 当社100%



ベトナム現地法人2社では、ハイフォン港近くのハノイ、ハイズン、ホーチミン港近くのホーチミン、ドンナイに拠点を有し、自動車部品と消費財の輸出入業務ならびに倉庫業を行っております。物流品質向上、お客さまのニーズにお応えするため、バイヤーズコンソリデーション、保税倉庫の活用、定温輸送等の物流サービスを提供しております。今後も、アジア域内において高品質で多様なサービスの拡充に努めてまいります。

※バイヤーズコンソリデーション：「買い付け物流」と言われ、フォワーダーがお客さまに代わり複数の購入先からの商品を倉庫で受領し、目的地別に仕分けのちにコンテナに混載して輸送する物流方式。

CSRの取組み

当社グループのCSR活動につきまして、活動状況の一部をご紹介します。

地域・社会貢献

— 地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでおります —

みえ水素ステーション見学会開催

当社の関連会社であるみえ水素ステーション合同会社では、みえ水素ステーション四日市において、本年7月24日から8月29日までの間、小学校高学年を対象に見学会を開催しました。「燃料電池や水素ステーションの仕組みを学ぼう」をテーマに多数の方に参加いただきました。三重県下だけでなく県外からの参加もあり、参加していただいた親子の方々は熱心にスタッフの説明に耳を傾け、興味深く見学されていました。

今後もより多くの方に水素ステーションを理解していただき、環境に優しい地域づくりの一助となるべく、活動を続けてまいります。



海岸の清掃活動に参加



本年7月16日、希少生物が生息する高松海岸において、「霞ヶ浦地区環境行動推進協議会（KIEP'S）」が実施する海岸の清掃活動に当社グループから有志の社員が参加しました。同協議会は、四日市港霞ヶ浦地区に立地するコンビニート関連企業および物流関連会社等28社、2団体、四日市港管理組合で構成され、2011年から、自主的かつ積極的な環境保全活動を行っており、2016年と本年には、国土交通省より奉仕活動に対して表彰を受けております。当社グループ9社も同協議会の会員企業として活動に参加しており、今後も、同協議会の活動を通じ地域の環境保全ならびに地域の環境美化を目指してまいります。

四日市・いなばポートライン開通式典参加

本年4月1日、伊勢湾岸自動車道・みえ川越ICと四日市港霞ヶ浦埠頭を結ぶ臨海道路・霞4号幹線「四日市・いなばポートライン」（愛称）が開通し、当日行われた開通式典において、当社グループの車両が通り初め式に参加しました。本道路の開通により、周辺道路の慢性的な渋滞の解消、港への利便性の向上、緊急時の通行手段の確保等、地域発展に繋がるものと期待されています。



中間連結貸借対照表		単位：百万円
科目	前期末 2018年3月31日現在	当中間期末 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	28,605	28,295
固定資産	92,389	91,976
有形固定資産	70,389	69,559
無形固定資産	1,417	1,347
投資その他の資産	20,582	21,069
資産合計	120,994	120,272
負債の部		
流動負債	20,683	25,074
固定負債	41,719	35,308
負債合計	62,402	60,382
純資産の部		
株主資本	54,343	55,524
資本金	8,428	8,428
資本剰余金	6,763	6,763
利益剰余金	40,341	41,522
自己株式	△ 1,189	△ 1,189
その他の包括利益累計額	2,340	2,431
非支配株主持分	1,907	1,933
純資産合計	58,591	59,889
負債純資産合計	120,994	120,272

中間連結損益計算書		単位：百万円
科目	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	47,180	48,933
売上原価	43,083	44,229
売上総利益	4,096	4,703
販売費及び一般管理費	3,085	3,049
営業利益	1,010	1,654
営業外収益	512	660
営業外費用	99	102
経常利益	1,423	2,212
特別利益	105	11
特別損失	32	32
税金等調整前中間純利益	1,497	2,191
法人税等	451	617
中間純利益	1,045	1,574
非支配株主に帰属する中間純利益	62	72
親会社株主に帰属する中間純利益	983	1,502

中間連結キャッシュ・フロー計算書		単位：百万円
科目	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	507	3,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,947	△ 1,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,842	△ 1,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 61	△ 42
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,658	210
現金及び現金同等物の期首残高	10,746	9,526
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	94	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,181	9,736

Point 売上高

昨年新しく稼働した3拠点での取扱量が増加したことなどにより、当中間期における連結売上高は、過去最高となりました。

会社の概要 (2018年9月30日現在)

社名	日本トランスシティ株式会社
英文社名	Japan Transcity Corporation
創業	1895年(明治28年)7月12日
設立	1942年(昭和17年)12月28日
資本金	8,428,059,616円
上場取引所	東京(第一部)、名古屋(第一部)
証券コード	9310
従業員数	2,280名(連結) 710名(単体)

事業目的

1. 倉庫業
2. 港湾運送業
3. 貨物自動車運送業
4. 貨物利用運送業及び代理業
5. 国際複合一貫輸送業及び代理業
6. 通関業
7. 医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器の包装、表示及び保管業
8. 発電及び電気の供給に関する事業
9. 不動産の売買、賃貸借及び管理業
10. スポーツ施設の経営
11. 自動車整備業
12. その他

役員

<取締役・監査役>

代表取締役会長	小林 長久
代表取締役社長	小川 謙
社長執行役員	
取締役専務執行役員	平野 理
取締役専務執行役員	横山 修一
取締役	豊田 長康
取締役	武内 彦司
監査役(常勤)	伊藤 久弥
監査役(常勤)	舟橋 央光
監査役	綿貫 繁夫
監査役	永田 昭夫
監査役	油家 正

<執行役員>

左記以外の執行役員は、次のとおりです。

常務執行役員	山下 潤
常務執行役員	岡村 光喜
常務執行役員	安藤 仁
常務執行役員	小森 信弥
常務執行役員	後藤 孝富
執行役員	小菅 能正
執行役員	森 恒夫
執行役員	伊藤 豊久
執行役員	半田 一久

*取締役 豊田長康、武内彦司の両氏は社外取締役であります。

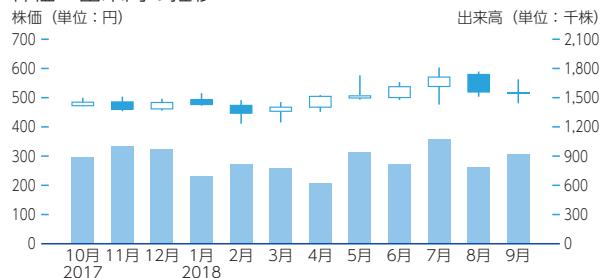
*監査役 舟橋央光、綿貫繁夫、永田昭夫、油家正の4氏は社外監査役であります。

株式の概要 (2018年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	67,142,417株
株主数	3,416名

株価・出来高の推移



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	4,000	6.2
日本トランスシティグループ社員持株会	3,759	5.9
蒼葉会	3,375	5.3
東京海上日動火災保険株式会社	3,014	4.7
株式会社三菱UFJ銀行	2,843	4.4
株式会社百五銀行	2,683	4.2
株式会社三重銀行	2,668	4.2
株式会社みずほ銀行	1,848	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,501	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,490	2.3

*持株比率は、自己株式(3,030,994株)を控除して計算しております。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月		
期末配当金受領 株主確定日	3月31日	公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.trancy.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
中間配当金受領 株主確定日	9月30日		
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	【ご注意】	1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しておりますのでご利用ください。

<https://www.trancy.co.jp>



トップページ



株主・投資家情報

物流と人のハーモニー
TRANCY
日本トランスシティ株式会社

〒510-8651
三重県四日市市霞二丁目1番地の1 四日市港ポートビル
TEL 059-363-5211
ホームページ <https://www.trancy.co.jp>

UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



(見直しに関する記述等についてのご注意)
この報告書に記載されている業績予想や将来に関する記述等は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき合理的であると判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により見直しと大きく異なる可能性があります。